

平成29年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（夏季）入学試験

入学試験問題

④ 科学技術史

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

問1. 下記4題から1題を選び、1,000～1,200字程度の論述文をまとめなさい。

選択した問題番号を明記して解答すること。(110点)

1. ドイツにおける脱原発への政治的プロセスについて概説しなさい。その上で、日本の原子力発電政策がドイツから学ぶべき点、又は学ぶべきでない点について、意見を述べなさい。(学ぶべき点、学ぶべきでない点のいずれか一方だけを論じてもよく、双方を論じてもよい。)

2. 中国における福島原発事故以後の原子力発電開発の動向について、福島原発事故による影響の分析を含める形で、また可能な限り最新のデータを用いて、論じなさい。

3. 2015年12月に、気候変動枠組条約COP21でパリ協定が合意されました。そこに至るまでの温室効果ガス排出削減に関する国際的な交渉過程を概説し、これからの国際的な温暖化防止体制のゆくえについて論じなさい。

4. 原油価格が下がっていますが、原油価格の低迷が今後の日本のエネルギー政策にどのような影響を及ぼすのか、幅広い観点から論じなさい。

問2. 下記10個の用語の内から3個を選び、それぞれ300字程度で、重要事項をバランスよく網羅しつつ簡潔に解説しなさい。選択した問題番号を明記して解答すること。

(90点)

1. 原子力委員会の原子力開発利用長期計画
2. 東海村JCO臨界事故
3. 中国電力上関原子力発電所建設計画
4. 汚染者負担原則(PPP)
5. 大阪空港公害訴訟
6. 微小粒子状物質PM_{2.5}
7. THAADミサイル
8. 混合診療
9. 水力発電
10. 石炭ガス化